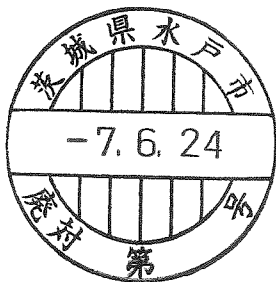


（第 1 面）

産業廃棄物処理計画書

令和 7 年 6 月 2 3 日

水戸市長 高橋 靖 様



提出者

住 所 茨城県水戸市城南一丁目 4 番 7 号

氏 名 株式会社 KAIXIA

代表取締役 石井 昭博

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 029（291）4121

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 KAIXIA
事業場の所在地	茨城県水戸市城南一丁目 4 番 7 号（水戸市内各所）
計画期間	令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 3 1 日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	総合工事業
②事業の規模	完成工事高 113,954 千円（令和 6 年度実績）
③従業員数	92 名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	①コンクリートガラ、アスコンガラ、廃石膏ボード、ガラスくず及び陶磁器くず→自社処分又は処理委託→土木資材として再資源化 ②廃プラスチック類→自社処分→再生原料や燃料として再資源化 ③木くず→自社処分又は処理委託→再生原料や燃料として再資源化又は最終処分業者へ処理委託 ④金属くず→売却又は自社処分→売却 ⑤混合廃棄物→自社処分又は処理委託→再生原料や燃料として再資源化又は最終処分業者へ処理委託 ⑥石綿含有産業廃棄物→最終処分業者へ処理委託

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙「管理体制図」のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類

別紙「令和6年度実績」のとおり

排 出 量

t

t

(これまでに実施した取組)

- ・ 廃棄物の分別徹底
- ・ 梱包材等の削減・再利用

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類

別紙「令和7年度計画」のとおり

排 出 量

t

t

(今後実施する予定の取組)

- ・ 廃棄物の分別徹底
- ・ 梱包材等の削減・再利用
- ・ 廃棄物の他、有価物の分別を徹底し排出量を削減する

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

コンクリートガラ、アスコンガラ、ガラスくず及び陶磁器くず、廃プラスチック類、木くず、金属くず、廃石膏ボード、石綿含有産業廃棄物を分別

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

- ・ 上記の継続
- ・ 金属くず等、有価物の分別徹底

株式会社 KAIXIA
管理体制図

代表取締役

取締役
(3 名)

監査役
(1 名)

リサイクルラブル
factory
リサイクル工場部門
収集運搬部門

エコセンサー笠間
ウエストリハバイブ
リサイクル工場部門
収集運搬部門

(株)KAIXIA
事務部門

(株)KAIXIA
営業部門

(株)KAIXIA
解体部門

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) 特に実施していません。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 特に実施予定はありません。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) 自ら熱回収を行った実績はありません。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 今後も自ら熱回収を実施する予定はありません。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	（これまでに実施した取組） 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った実績はありません。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	（今後実施する予定の取組） 今後も自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う予定はありません。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙「令和6年度実績」のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	— t
	（これまでに実施した取組） ・他社に処理委託する場合は、優良認定処理業者を優先的に委託先とする。 ・廃棄物の分別を徹底し、再利用事業者を優先的に委託先として最終処分する廃棄物量の削減に努める。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙「令和 7 年度計画」のとおり	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の熱 回収を行う業者への処 理 委 託 量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
	・ 他社に処理委託する場合は、優良認定処理業者を優先的に委託先とする。		
	・ 廃棄物の分別を徹底し、再利用事業者を優先的に委託先として最終処分する廃棄物量の削減に努める。		
	・ 熱回収事業者へ及び認定熱回収事業者へ処理委託の推進に努める。		
※事務処理欄			

令和6年度実績

廃棄物の種類	排出量	自社処分量 (優良認定事業者)	全処理委託量	処理委託量 (優良認定事業者)	処理委託量 (再利用事業者)	処理委託量 (熱回収事業者)
コンガラ	1,437.50	0	1,437.50	0	0	0
アスガラ	53.33	0	53.33	0	0	0
がれき類	8.88	8.88	0	0	0	0
ALC	166.25	166.25	0	0	0	0
ガラス陶磁器くず	81.50	81.5	0	0	0	0
廃プラスチック類	2.45	2.45	0	0	0	0
金属くず	3.39	3.39	0	0	0	0
木くず	3.30	0	3.30	0	0	0
石膏ボード	16.20	16.2	0	0	0	0
混合廃棄物	9.10	9.10	0	0	0	0
石綿含有産業廃棄物	32.56	0	32.56	0	0	0
合計	1,814.46	287.8	1,526.7	0	0	0

令和7年度計画

廃棄物の種類	排出量	自社処分量 (優良認定事業者)	全処理委託量	処理委託量 (優良認定事業者)	処理委託量 (再利用事業者)	処理委託量 (熱回収事業者)
コンガラ	700.00	0	700.00	200	0	0
アスガラ	30.00	0	30.00	10	0	0
がれき類	4.00	4.00	0	0	0	0
ALC	80.00	80.00	0	0	0	0
ガラス陶磁器くず	50.00	50.00	0	0	0	0
廃プラスチック類	1.50	1.50	0	0	0	0
金属くず	1.50	1.50	0	0	0	0
木くず	2.00	0	2.00	2.00	0	0
石膏ボード	10.00	10.00	0	0	0	0
混台廃棄物	9.00	9.00	0	0	0	0
石綿含有産業廃棄物	30.00	0	30.00	0	0	0
合計	918.00	156.0	762.0	212.0	0	0

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。